

○平成 25 年度



10月、3年生は農業支援の先生に教えていただきながら、サツマイモの収穫を行いました。

畑の端から端まで伸びたサツマイモのつるを切っていただき、どこにサツマイモがあるか、ちょっとした探検隊気分。「あったー！」見つけた時の喜びは、キラキラの笑顔とともに大空へこだましました。自分の顔ぐらいある大きなサツマイモが、次から次へと掘り出され、子ども達も大満足のイモ掘りとなりました。



5月、農業科の顔合わせ・土作りとともに、4年生は長ネギ苗の植え付けを行いました。

小さくて細い長ネギの苗を、間隔を開けて溝を作った所に植え、優しく土をかけました。日の当たらない部分を多く作ることで、長くて良いネギができること。水もたっぷりあげて、10月の収穫祭においしく食べられるよう、支援の先生に教えていただきながら、水やりや草むしり、土かけを頑張りしっかりと育てました。



10月のさわやかな青空の下、5年生は稲刈りをしました。

校内でも特に人数の少ない5年生ですが、春の田植えから長い間面倒を見てきたモチ米の収穫とあって、みんな心を一つに稲刈りしました。時には、大きな機械にもお手伝いしてもらいながら、手に持った鎌でしっかりと稲の根本を刈り取りました。

収穫したモチ米は、5年生が餅をついて、後ほど全校生に振る舞われました。



10月22日は、姥堂小の収穫祭。その前日は毎年、野菜など食材の下準備を高学年が行います。

作業も手慣れた6年生が、5年生に教えながら、たくさんの野菜を班ごとに分けて切っていきます。

ぬるぬるの里芋だけは、先生方に手伝ってもらい、無事に収穫祭の準備をすることができました。

6年生はジャガイモや里芋、白菜、スイカなどたくさんの野菜を農業科で作りました。作った体験から命を学び、作文に生かした子ども達もいました。